



10月8日にコハクチョウの成鳥12羽が迫川で確認されました。飛来日は平年より1日早く、昨年より1日早い飛来となりました。

Vol.113

令和元年度11月号

トヨタグループ関連企業の方々が環境整備に貢献

木々が色づいてきた今日この頃ですが、秋空の下、10月5日に『トヨタ自動車東日本(株)』の方々が、CSR(社会貢献)活動の一貫として、伊豆沼周辺の環境整備に取り組みました。「社会・地球の持続可能な発展への貢献」をスローガンに、伊豆沼周辺の散策路の環境保全活動、整備活動に使用する資材の加工、休耕田のヨシ刈りを、好天に恵まれた中、滞りなく作業が進められました。



散策路の整備



ヒメガマの抜き取り

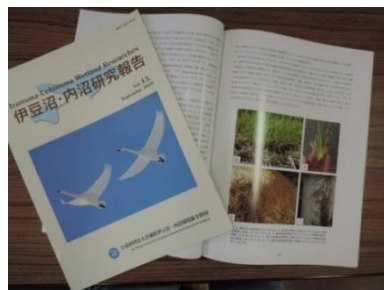
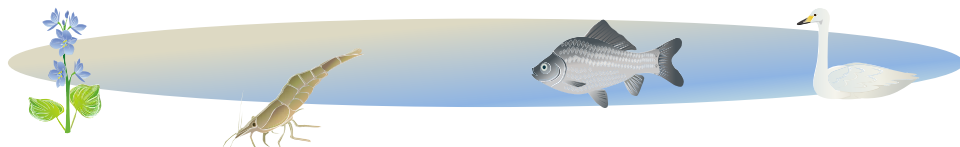


資材の加工

10月11日には、『オールトヨタ』として、関連企業の皆さんが、CSR活動に取り組みました。台風が接近する中、何とか天候が持ちこたえ、無事に作業が進められました。10月5日に準備された資材を使用し、散策路の整備や増えすぎたヒメガマの抜き取りなどを行ない、両日とも和やかな雰囲気で行われました。今後もトヨタCSR活動は順次行なわれます。

伊豆沼・内沼研究報告13巻を発行しました。

植物からエビ、カメ、魚、鳥、ネズミなどさまざまな生物、また宮城はもちろん、新潟、千葉、愛知、茨城などさまざまな地域からご投稿いただいた10本の論文を掲載しています。



自然体験講座参加者募集

ガンの飛び立ち観察会

&ラムサール湿地見学ツアー

朝のマガンの飛び立ちを観察します。ラムサール登録湿地の蕪栗沼と化女沼でも観察します。

第7回11/3 (日)5:30~12:00

第8回11/24(日)5:30~12:00

対象は小学生以上（各回小学生は保護者同伴）。定員は各回20人申込先着順。参加費小学生600円、中学生以上800円（朝食・保険代）。持ち物は履きなれた靴あるいは長靴、防寒着。集合場所は宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター（鳥館）。

◆お申し込み、お問い合わせは宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター TEL0228-33-2216



ガンの飛び立ち観察会

&沼歩き探鳥会

冬は渡り鳥の数がピークになります。沼のまわりを歩きながら鳥を身近に観察しましょう。

第9回12/7 (土)6:00~10:00

第10回1/11(土)6:00~10:00

湿地センターの国際シンポジウムで講演しました。

国境を越える渡り鳥を保全するには、国を超えた連携が重要です。今回、韓国で開催されたInternational Wetland Center Symposiumにて、たくさんの国の代表者に混じって、伊豆沼の事例を発表してきました。

スリランカやインドなど、日本では見られないユニークな湿地保護区の事例を学ばせて貰いました。韓国最大の湿地である「牛浦沼（ウポヌマ）」なども視察し、コウノトリの保護施設など、今後の活動に参考になる事例を学ばせて頂きました。



伊豆沼・内沼生きもの図鑑 カラハナソウ(唐花草)

カラハナソウはアサ科の多年草で、つるを伸ばし他の植物に絡みながら生長します。カラハナソウはビールの苦味や香りの原料となるホップ（セイヨウカラハナソウ）の近縁にあたります。つるから垂れ下がる白いマツカサのような形をした部分は雌花が変化した果穂（かすい）です。中には種が入っており、嗅ぐとさわやかな香りがします。サンクチュアリセンター前の植物園には所々にカラハナソウの群落があります。お立ち寄りの際はぜひ探してみてください。



〒989-5504 宮城県栗原市若柳字上畑岡敷味17-2
宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター
指定管理者 (公財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団

Tel0228-33-2216 Fax0228-33-2217
ホームページ:<http://izunuma.org/>
E-mail:izunuma@circus.ocn.ne.jp

